



ユーザーマニュアル

消費者向けの安全に対する大切な情報

警告：自転車に乗ることには危険がつきまといます。

それが正しくお手入れ、点検されていない自転車やぶひんであればなおさらです。
この説明書に目を通されないこともまた危険な行為となります。

1. この説明書で表記されていない改造や調整は行わないで下さい。
2. 自転車に乗る前には毎回チェーンガイドの点検を行って下さい。その際過度なすり減りや変形、ヒビなどの兆候がないか見て下さい。何かしら異常を見つけた際は乗車を止め、完璧な点検と修理の必要性を確認するため購入店へ持ち込むかMRPに問い合わせして下さい。
3. 乗車時は常に頭にあったヘルメットなどの適切な安全用装備を着用されることを推奨します。無灯火での夜間走行は決して行わないで下さい。
4. 必ずMRPの純正部品をお使いください。2次市場の交換部品の使用、アップグレードは保証が無効になり、構造上の破損を招く恐れがあります。

MRPの取り付けは最寄りのショップの熟練したメカニックをお願いして下さい。
自分で取り付ける場合も、装着後ショップにて見てもらうことをお勧めします。

必要工具：

- 適切なBBカップ取り外し
工具 (BBマウント用)
- 適切なクランク取り外し
工具
- 4mmアーレンキー
- トルクレンチ

付属の取り付け用ハードウェア

ISCG/ISCG-05 モデル

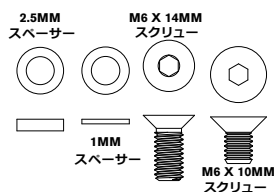
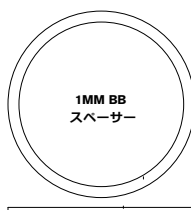
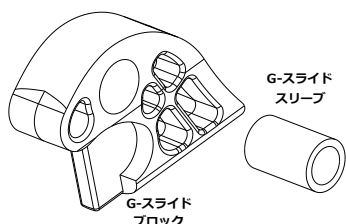
M6 X 14mmカスタムヘッド ISCGスクリュー - 3
2.5mm ISCGスペーサー - 3
1mm ISCGスペーサー - 6
M6 X 10mm ISCGスクリュー - 1

BB モデル

1mm BB Spacer - 1

共通品

G-スライドブロック - 1
Gスライド用アロイスリーブ - 1



A

ISCG/ISCG-05 ガイド取り付け説明

4mmアーレンキーでフレームに設けられたISCG用のねじ切りタブに付属のM6x14mm ISCGスクリューを使ってガイドを取り付けて下さい(図A)。その際必要であれば1mm、2.5mmのスペーサーを使って下さい。代表的なISCGの間隔(タブがBBシェルと同一平面上にあると仮定)は68mmのBBシェルで3.5mm、73mmと83mmのBBシェルで1mmです*。スペーサーは常にバックプレートとフレームタブの間に挟んで下さい。3箇所のうち上部のタブがM6x14mmネジを収容出来るほど深く削られていない場合はM6x10mmのネジを使って下さい。この時点でネジは緩めにしておいてください。

B

12 - 12:30



BBマウントガイド取り付け説明

ドライブサイドのBBカップを取り外します。BBカップとBBシェル(もしくは幾つかの68mmと83mmBBシェルではBBカップと内蔵スペーサー)の間にガイドと1mmのBBスペーサーを挿入します。1mmのBBスペーサーは間隔の必要性に応じてガイドの外側もしくは内側に挟みますが、最初は外側に挟むことをお勧めします。同時に、バックプレートと1mmのBBスペーサーはBBアッセンブル上BBスペーサー1枚(2.5mm)に置き換わり、BBスペーサーが2枚使われる際は外側に配置されたスペーサーがバックプレート+1mmスペーサーに置き換わります。

スラムのGXPのBBに取り付ける場合、ドライブ側にスペーサーと呼ばれるものはなく、BBマウント型のG3ガイドは互換性がありチェーンラインに影響も与えません。BBカップは指で締め込める程度にしてください。

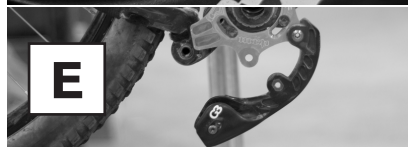
*これらは基本的な通常の取り付けに際しての推奨であり、セットアップはお使いのパーツにより変わってきます。

C**D****2**

アッパーガイドボルトがBBの中心に対して12:00から12:30の位置(図B)に来るようにガイドを調整して下さい(図B)。位置が決まったら、ISCGボルトを8-9Nmのトルクで、BBマウントガイドはBBカップをメーカーの推奨トルクで締め込んで下さい。

3

アッパーガイドボルトをはめ込まれたスライダナットから緩め、ガイド中ほどまで引き抜いてから、アッパーガイド自体を回転させ開きます(図C)。次にガイド裏側から下側後方の滑り止めボルトを取り除きます(図D)。そしてガイド下側のパーツを開放させます(図E)。

E**F****4**

クランクセットとチェーンを取り付けます(図F)。アッパーガイドを元に戻し、ガイドボルトを入れ直します(図G)。ガイドボルトは1.2-1.3Nmのトルクで締め込んで下さい。バックプレートにはガイドの垂直位置を決める手助けとしてレーザーエッチングが施されています。チェーンとアッパーガイドの天板の間にはおよそ3mmの感覚がなければいけません。

G

H**5**

ガイドの角度が正しいかを確認して下さい。チェーンはリアカセットの真ん中に載っている時にアッパーガイドの中央になればいいけません(図H)。チェーンが最も大きな、もしくは小さなカセットコグに載っている時、チェーンとアッパーガイドの間には若干の接触、もしくは接触がない状態でないといけません。必要があれば付属のISCGスペーサーと1mmBBスペーサー(BBマウントガイド用)を使って微調整してください。*

*調整の際はここから逆の行程を踏んでいただき、再度ステップ1の最初からの行程を踏んでいただく必要があります。

6

ガイドの下部分をスイングさせて元に戻し、後方の滑り止めボルトをガイド裏側から付け直します(図I)。締め付けトルクは3.5-4Nmです。後方の滑り止めボルトを一列に揃えるのが困難な場合、下パーツの凹みに泥や破片がないことと、バックプレートがガイド内に完全に設置されていることを確認して下さい。バックプレートをしっかりと設置させるには手のひらで軽く叩いてあげる必要があるかもしれません。

7

全ての締め具が適切に締め込まれているか、そして取り付け部品のどこにも不必要な摩擦や接触がないことを確認して下さい(図J)。フルサスペンションの自転車に装着する際は、リアショックの空気や金属バネを取り除き、完全にストロークさせて干渉具合を確認して下さい。確認が終わったら安全な場所で機能性の確認を行って下さい。

G-SLIDE 取り付け説明

G3には口ワザガイドとして伝統的なプーリーとGスライドの2種類が用意されています。効率面と静かな駆動面で基本的にはプーリーをお勧めしますが、プーリーの性能に悪影響を与えるほどの著しいマディコンディションではGスライドが有益です。全てのユーザーにおかれましては両方のアッセンブリを試していただき、選択に基づいてご自身の結論を導いていただくことを奨励します。

G3はプーリーが付けられた状態で出荷されています。Gスライドを取り付ける場合、以下の手順に従って下さい:

1. ガイドから後方の滑り止めボルトを取り外し、下パーツをスイングさせてぶら下げた状態にします(詳細については1ページ前のステップ3をご覧ください)。
2. 4mm口ワザガイドボルトを取り外します。
3. プーリー(B)と2つのプラスワッシャーを取り除きます。

